

水稲用初・中期一発処理除草剤



# ゴエモン<sup>®</sup>フロアブル



除草のすご腕、  
ここに参上。

直播水稲が  
可能に!!

ノビエをはじめ、さまざまな雑草に優れた効果!



ノビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ



クログワイ



オモダカ

# ブエモン<sup>®</sup>フロアブル

**ノビエに卓効の新規成分配合**

イプエンカルバゾンの配合により優れた効果を発揮

**さまざまな雑草に優れた効果**

多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効

**田植同時処理が可能**

イネに対する高い安全性と雑草防除の省力化に貢献

## 適用と使用方法

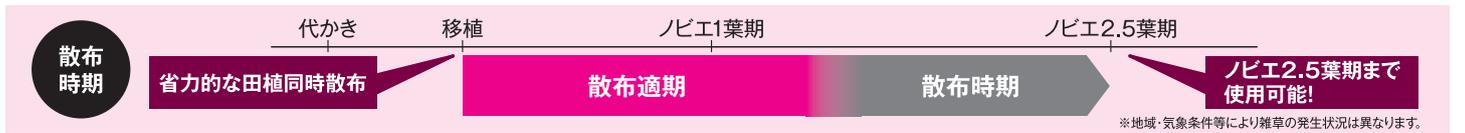
有効成分 イプエンカルバゾン…4.6%  
イマズスルフロン…1.7% プロモプロチド…16.7%

## 主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500ml/10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			原液湛水散布 又は 水口施用
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			原液湛水散布

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ	発生始期まで
クログワイ	発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

**[有効成分の総使用回数]** イプエンカルバゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内 イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 プロモプロチドを含む農薬の総使用回数：2回以内 (2018年12月現在の登録内容)



## 田植同時散布での上手な使い方

散布量 / 10a当り500ml

※散布量の調整については各散布機の取扱説明書をご覧ください。ご購入になった農機具店にお問い合わせください。  
※実際の散布に当っては散布量の微調整が必要です。

- 均平化作業・植付けはていねいに**  
田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。
- 極端に土のもどりが悪い水田では使用をさける**  
移植後の根が露出していると、薬剤が直接根に触れ薬害の危険があります。
- 田植同時処理はひたひたの浅水で!**  
水がない状態では薬剤の拡散が悪く、効果不良・薬害の原因になることがあります。
- 移植深度は適正に!**  
極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。
- 移植後は速やかに入水!**  
移植後は速やかに水深3~5cmになるよう入水してください。

## 使用上の注意

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(湛水深が2cm/日以上)
  - 軟弱な苗を移植した水田
  - 極端な浅植えの水田
- 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがあるので、天候に注意して使用してください。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
- 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすようにしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スポン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は直ちに手洗、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

30H12L18G31:ZS

2018年12月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ  
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 https://www.i-nouryoku.com

